

ソリューション

# UNIVERGE“ FOMA® ”連携ソリューションの導入によるワークスタイルの改革

## Work Style Reforming with UNIVERGE 3G/Wireless LAN Phone Solution

豊田 幸一\*  
Kouichi Toyoda

吉村 茂偉\*\*  
Shigei Yoshimura

園田 隆史\*  
Takashi Sonoda

多田 潤平\*  
Junpei Tada

### 要 旨

UNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションは、世界で初めて社内では無線LAN、社外ではFOMA®として使える携帯電話FOMA® N900iLを活用するソリューションです。UNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションは、単に内線電話を無線IP電話にリプレースするだけでなく、オフィスのワークスタイルの革新や通信のTCO削減など、ビジネスにおけるコミュニケーションの在り方を大きく変えるポテンシャルを持っています。

本稿ではオフィスユーザの立場から見たUNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションの導入メリットとソリューションを支える個別のアプリケーション群について紹介します。

“UNIVERGE 3G/Wireless LAN Phone Solution” is the first solution in the world that provides sip phone service inside of an office and 3G mobile service outside by using “FOMA® N900iL” the dual band phone (wireless and 3G wireless). “UNIVERGE 3G/Wireless LAN Phone Solution” not only replaces internal office phone with wireless IP phone but provides users with various potential benefit and solutions that can reduce TCO and develop the way of communication in the office.

This paper introduces the merit of “UNIVERGE 3G/Wireless LAN Phone Solution” for office workers and a variety of applications for the solution.

### 1. まえがき

近年、ブロードバンド環境の普及拡大に伴い、データ系ネットワークと音声系ネットワークを統合することで、内線電話を含めたネットワーク関連のTCO削減の実現を求めている企業が増えています。それだけではなく、ユビキタス時代の到来をにらんだ、いつでも・どこでも仕事ができるワークスタイルに企業の注目が集まっています。すなわち、

ブロードバンド技術と情報システムの融合による、業務の効率化や知的生産性の向上、意思決定の迅速化などの実現へと企業のニーズが拡大しつつあるのです。NECでは、こうした市場ニーズに応えるため、UNIVERGEモバイルソリューションの第一弾としてUNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションの提供を開始しました。

### 2. UNIVERGE“ FOMA® ”連携ソリューションとは

UNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションの導入によって、社内では無線LANデュアル端末により一台で内線・外線に対応できるので、いつでもコミュニケーションをとることができます。また、アプリケーションとの連携によってプレゼンスを管理することで、最適なコミュニケーション方法を選択することができます。社外にいる時は、社内の情報にアクセスすることによって必要な仕事をその場でできるため、業務効率の向上を可能とします。また社内、社外での情報の集中管理によって、設備コスト・管理コストの削減を促します（図1）。

以下にUNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションの導入メリット、アプリケーションとの連携、それによるワー

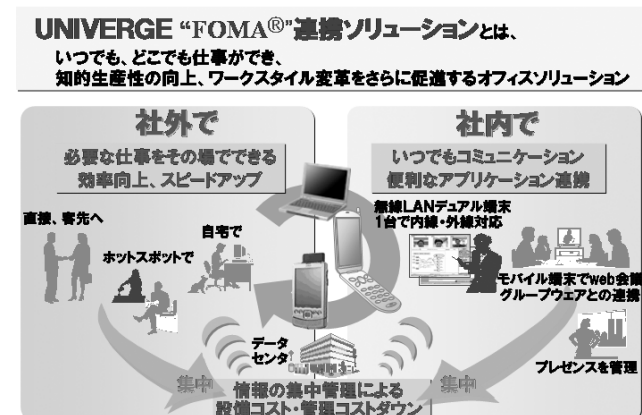


図1 UNIVERGE“ FOMA® ”連携ソリューションとは  
Fig.1 Configuration of “UNIVERGE 3G/Wireless LAN Phone Solution”.

\* UNIVERGEソリューション推進本部  
UNIVERGE Solutions Promotion Division

\*\* NEC通信システム 第二ソリューション開発事業部  
NEC Communication Systems, Ltd.

クスタイルの広がりについて説明します。

### 3. UNIVERGE “FOMA” 連携ソリューションのメリット

#### (1) 社内でも、社外でも一台の電話機で対応

最近のオフィスでは相手が社内にいるかどうか分からず、つい携帯電話へかけるケースがよくありますが、UNIVERGE “FOMA” 連携ソリューションの導入により、内線通話と外線通話の両方をFOMA® 端末一台で行うことができます。このため相手がどこにいても、内線番号へ電話を発信しておけば、相手は社内でも社外でも受け取ることができるので、携帯電話へのムダな通話料金を削減できます。

#### (2) いつでも、どこでもお客様からの電話に応答

離席中や外出中にかかってきた電話を、会議室や外出先に転送可能です。いつでも、どこにいてもお客様からの電話に対し、迅速に対応することができるので、顧客満足度の向上に貢献します。

#### (3) 最適な通信手段を選択可能

プレゼンスシステムにより、在席中/離席中/会議中/外出中など、相手の状況を事前に確認することができます。そのため、電話、メールなど、最適な手段で伝達することができます。また社内においても電話に出られない相手に急ぎの用件を伝達したい場合に、FOMA® 端末に直接メッセージを届けるインスタントメッセージ機能により、即座に相手に用件を伝えることができます。

#### (4) いつでも、どこでもオフィスの業務/業種アプリケーションを利用可能

社外でも会議室でも、自分のデスクにいるのと同じように、電話や電子メール、Webなどが使用できるようになります。UNIVERGE “FOMA” 連携ソリューションではStarOffice21を始め、主要なグループウェアを利用することができます。また第4章以降で説明するアプリケーションの活用により、UNIVERGE “FOMA” 連携ソリューションならではの活用が期待されます。

## 4. UNIVERGE “FOMA” 連携ソリューションを支えるアプリケーション群

NECではUNIVERGE “FOMA” 連携ソリューションの強化機能として以下のアプリケーションをリリースしています。

- ・プレゼンス連携電話帳ソフトウェア UNIVERGE TL1000
  - ・インスタントメッセージ配信ソフトウェア UNIVERGE IM1000
  - ・自動プレゼンスソフトウェア ActivePresence
- 以下に製品の概要と特長について説明します。

#### 4.1 プレゼンス連携電話帳ソフトウェア

##### UNIVERGE TL1000

UNIVERGE TL1000は、UNIVERGE “FOMA” 連携ソリューションに対応し、プレゼンス情報を表示することができる電子電話帳ソフトウェアです。



図2 UNIVERGE TL1000のPC画面(左)、携帯画面(右)

Fig.2 Display image of UNIVERGE TL1000, Left: PC display image, Right: mobile display image.

本ソフトウェアでは、登録された人の名前などの情報を入力して検索し、検索された人の個人アドレス情報を表示するだけではなく、表示したWeb画面から電話発信やメール、インスタントメッセージの送信ができます。また、UNIVERGE PS1000 (プレゼンスサーバ) との連携により、相手の現在の状況 (プレゼンス) を表示することもできます。

本ソフトウェアを導入することにより、たとえ外出していたとしても、登録された人の連絡先を知ることができます。また、電話やメール、インスタントメッセージなど、複数ある連絡手段のなかから、状況に合った手段を選択することにより、コミュニケーションをより円滑に行えるようになります。

図2は、UNIVERGE TL1000のPC (左)、携帯電話 (右) のWeb画面イメージ例です。本ソフトウェアは、情報を検索する人と検索対象の人の両者のプレゼンス情報に応じて、最適な連絡手段をWeb画面の上部に優先して表示するという、ユーザフレンドリな特長を持っています。また、本ソフトウェアを利用して個人アドレス情報をWebで閲覧することにより、携帯電話自体に必要な以上に個人情報を登録する必要がないため、万一携帯端末を紛失した場合のセキュリティ対策になります。

このUNIVERGE TL1000は、FOMA® N900iLの電話としての本来の基本機能を引き出すだけでなく、ワークスタイルの革新をめざす企業に必要なコミュニケーション機能をふんだんに盛り込んだソフトウェアとして期待されています。

#### 4.2 インスタントメッセージ配信ソフトウェア UNIVERGE IM1000

UNIVERGE IM1000は、FOMA® N900iLやソフトフォンDtermSP30のインスタントメッセージ機能を利用して、メッセージを同報配信するメッセージングソフトウェアです。インスタントメッセージ (以下、「IM」と表記) を用いた同報配信を行うため、メッセージを多人数にすばやく配信することができます。またWebやメール、XML (eXtensible Markup Language) などと連携することにより、既存のメールソフトを活用して送信するeメール・Webメ

ールなどの各種メール形式がIMに自動変換され、多人数への即時同報が可能です。また、UNIVERGE PS1000（プレゼンスサーバ）との連携により、連絡したい相手の状況に応じて、たとえば、相手が外出中の場合は、IMをeメールに自動的に転送するといった機能を持ちます。

今後は配信先の端末を拡充し、様々な業務、業種に対し展開を予定しています。

UNIVERGE IM1000は具体的には以下のように、1つのメッセージを一斉配信する場面で有効に活用されると想定されます。

- ・ 会議場所/時間の変更などの緊急連絡を一斉通知
- ・ グループウェアなどのスケジューラの通知機能と連携して、スケジュールをリアルタイムに通知
- ・ 不審者の侵入、災害時の指示など、緊急連絡を一斉通知（業種アプリケーションと連携）
- ・ 販売システムなどのアプリケーションと連携することにより、販促情報、競合店情報などを一斉通知

### 4.3 自動プレゼンスソフトウェア ActivePresence

プレゼンス情報は、これまで各人が移動や状態変更の都度、手動で情報を登録・更新する必要があったため、「設定のし忘れ」などによってメンバー全員の正確なプレゼンスを把握することが困難でした。このため十分にプレゼンスの活用ができずに、「最適な相手への通信によるコミュニケーションロスの削減」という本来の目的が十分に達成できていないという課題がありました。

ActivePresenceは各人が持ち歩いているFOMA® N900iLなどのモバイル端末が接続しているアクセスポイントの情報をもとに位置情報を自動的に認識・更新し、リアルタイムかつ正確なプレゼンス情報の共有を可能とします（図3）。

ActivePresenceの主な特長は以下になります。

- 1) 無線LANのアクセスポイントへの接続情報をもとに、リアルタイムに各人の位置を認識し、「5階の会議室」「外出中」など最新のプレゼンス情報をサーバに自動

的に登録・更新。

- 2) Webブラウザ上で動作するため、FOMA® N900iLやノートPCなど各人の業務や環境に最適なモバイル端末を利用して社内外からプレゼンスの閲覧が可能。
- 3) プレゼンス情報を手動設定し、自由に内容を表示することが可能。各人の状況に合わせた臨機応変なプレゼンス管理を実現。

## 5. むすび

UNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションは、今まで多くのビジネスパーソンが望んでいた「いつでも、どこでも必要な仕事ができること」を本格的に実現するソリューションです。今後は、業務アプリケーションとの連携基盤を強化して、UNIVERGE “FOMA®”連携ソリューションの対応範囲をさらに拡大していく予定です。また、お客様の端末に対するニーズも多機能志向、モビリティ志向に拡大していくことが考えられます。UNIVERGEモバイルソリューションでは、FOMA® N900iLとの連携を拡充していくとともに、今後はPDA、スマートフォンといったオープン端末を含めた端末バリエーションの拡充を進めていきます。

\* FOMAは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

### 筆者紹介



Kouichi Toyoda  
とよだ こういち

**豊田 幸一** 1982年、NEC入社。現在、エンタープライズソリューション事業本部UNIVERGEソリューション推進本部ソリューション開発部マネージャー。



Shigei Yoshimura  
よしむら しげい

**吉村 茂偉** 1988年、NEC通信システム入社。現在、第二ソリューション開発事業部ソフトウェアエキスパート。



Takashi Sonoda  
そのだ たかし

**園田 隆史** 2004年、NEC入社。現在、エンタープライズソリューション事業本部UNIVERGEソリューション推進本部ソリューション開発部勤務。



Junpei Tada  
ただ じゅんぺい

**多田 潤平** 2005年、NEC入社。現在、エンタープライズソリューション事業本部UNIVERGEソリューション推進本部ソリューション開発部勤務。

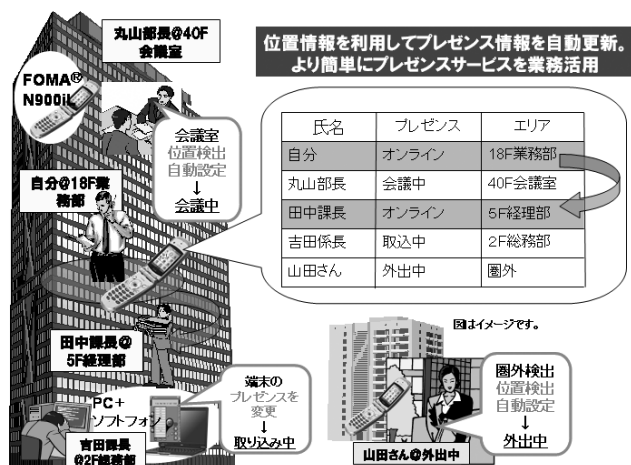


図3 ActivePresenceの導入イメージ

Fig.3 Image after introducing ActivePresence.